

【5年（読むこと）】

すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめよう（「大造じいさんとがん」）

指導者 中島 高義（阿蘇市立一の宮小学校）

視点1 学びを自覚するための手立て

視点2 共に学び続けるための工夫

単元

学びの土台

これまで：場面の移り変わりや結び付けて、登場人物の心情の変化や性格、情景を想像する
これから：人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする

学習課題

表現の工夫や効果に着目しながら、人物像や物語の全体像をとらえ、物語のみりよくをリーフレットにまとめよう。

指導事項

人物像や全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすること
C 読むこと（1）エ

思考操作

作品の魅力を高めている表現の工夫や効果に着目して読む

言語活動

物語の魅力をリーフレットにまとめ、友達と交流する。

<立ち止まって振り返る場>

「どこで大造じいさんの残雪に対する気持ちが変わったのか」などの子どもたちの疑問を、初発の感想や問いを生み出す場面から引き出し、本時の課題を設定する。

<考えを表出し比較する場>

心情の変化を表す図を示し、その中に児童の考えを整理することで互いの考えの違いに気付かせ、話し合いたいという意欲を高められるようにする。

言葉による
見方・考え方を
働かせる

<納得解を生み出す根拠や理由づけの充実>

大造じいさんの心情が大きく変化した理由について、叙述に基づいた根拠や理由づけにこだわった話し合いを展開することで、一人一人が言葉への自覚を高めながら納得解を生み出すことができるようにする。

本時

本単元で目指す子どもの姿

物語を複数の視点から読み味わいながら作品の魅力を見出し、感じたことや考えたことを友達と進んで伝え合おうとする子ども。

第5学年1組 国語科学習指導案

指導者 阿蘇市立一の宮小学校 中島 高義

1 単元名 すぐれた表現に着目して読み，物語のみりよくをまとめよう
「大造じいさんとがん」（光村図書5年）

2 学習課題 表現の工夫や効果に着目しながら，人物像や物語の全体像をとらえ，
物語のみりよくをリーフレットで伝えよう。

[指導事項] 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたり
することができるようにする。 C読むこと（1）エ

[思考操作] 作品の魅力を高めている表現の工夫や効果に着目して読む。

[言語活動] 物語の魅力についてまとめ，リーフレットを作る。

3 単元について

<教材観>

本教材の特徴は，次の通りである。

- ・前語りから始まり，本編（過去の出来事）へ続くという構成となっている。
- ・人物の行動や会話，豊かな情景描写から心情やその変化を読み取ることができる。
- ・残雪の行動や姿が，中心人物である大造じいさんの心情を大きく変化させていく。

以上の特徴から，人物像や物語の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることに適した教材であると言える。特に高学年では，中心人物の心情の変化をもとに作品の主題に迫らせることが大切である。そのような学びを生み出すために，「作品の魅力をリーフレットにまとめて友達と伝え合う」という言語活動をゴールとして設定し，単元を構想する。

<児童観>

子どもたちは，これまで4年「ごんぎつね」や5年「なまえつけてよ」などで登場人物の相互関係や心情の変化を捉えたり，表現の効果を考えたりすることを経験し，その知識を生かして物語を読み味わうことが少しずつできるようになってきている。しかし，物語を読み味わう上で重要となる「表現技法」「中心人物の心情の変化」「主題」などの指導事項については，自ら活用できる知識にはまだなっていない。

<視点について>

[視点1] 学びを自覚するための手立て

第一次においては，既習教材の「ごんぎつね」を使って物語文の既習事項を想起させる。その際，物語の五つの視点（設定，視点，表現技法，心情の変化，主題）について押さえる。この五つの視点を使ってこれから作品を読んでいくことを確認するとともに，学習課題を設定したり学習計画を立てたりする際の拠り所としても活用する。

第二次においては，各授業を五つの視点毎に分けて進めることで学習内容を焦点化する。これによって読みが苦手な子どもにとっても分かりやすい授業を展開し，その時間で何を学習したのかを，まとめや振り返りを通して自覚できるようにする。

[視点2] 共に学び続けるための工夫

一人学びの時間を必ず設けることで，自分の考えをもつことができるようにする。また，自分の考えを持つときにはその根拠となる叙述を明らかにしたり，考えに説得力を持たせる理由付けをしたりすることを促す。さらに，持てた考えをもとに，ペアやグループ，全体での話し合いに広げ，交流をとおして考えを深められるようにする。その際，子どもたちの考えを図や表にして可視化したり，構造的な板書を工夫したりすることで，考えを分類，整理，比較したり，物語の全体像や心情の変化の様子を把握したりできるようにする。

4 単元の見どころ

- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 (知・技) (1) ク
- ◎ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 C読 (1) エ
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 C読 (1) オ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (学・人)

5 指導と評価の計画 (9時間取り扱い)

次	時	学習活動	教師のかかわり	評価規準 [評価方法]
一	1	○「五つの視点」を理解し、単元の見通しをもつ。	・「ごんぎつね」をもとに「五つの視点」を理解させ、単元のゴールを設定する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 〈学習課題〉 表現の工夫や効果に着目しながら、人物像や物語の全体像をとらえ、物語のみりよくをリーフレットにまとめてよう。 </div>				
	2	○教材文を読んで内容の大体を捉え、視点に沿って初発の感想を書く。 ○学習課題達成のために、どんな問いを解決していくかを話し合う。	・物語を読む際の視点(物語の設定や表現技法、心情の変化など)も参考にしながら、初発の感想を書けるようにする。 ・学習計画を示し、「リーフレットにまとめる」(ゴール)までの見通しをもたせる。	思 「ごんぎつね」で振り返ったことをもとにしながら、初発の感想を書いている。 [シート・発言]
二	3	○物語の設定を読み取り、表にまとめる。	・作品の設定を表にまとめることで、作品の全体像を視覚的に捉えられるようにする。	思 作品の設定を表にまとめている。 [シート]
	4	○会話文の変化から中心人物の心情を読み取る。	・センテンスカードを並べ替え、会話に変化するきっかけに着目させることで、大造じいさんの心情の変化に気付けるようにする。	思 会話文の変化から、中心人物の心情を読み取っている。 [シート・発表]
	5	○情景描写とは何かを知り、作品中の情景描写を探して中心人物の心情を読み取る。	・情景描写の文の必要性を話し合わせることで、情景描写の効果や大造じいさんの心情に気付けるようにする。	知 情景描写に着目し、その表現から登場人物の心情を考えている。 [シート・発表]
	6 本 時	○山場における中心人物の行動について考え、中心人物の心情の変化をまとめる。	・大造じいさんの行動について話し合い、それを時系列の図に表すことを通して心情の変化を捉えられるようにする。	思 大造じいさんの心情の変化を、一文で書き表している。 [シート・発表]
	7	○結末部の中心人物の行動を見つめ、作品の主題について話し合う。	・結末部での大造じいさんの行動を評価することを通して、作品の主題を自分なりに考えられるようにする。	思 作品の主題について、自分の考えを書き表している。 [シート・発表]
三	8	○作品の魅力についてリーフレットにまとめる。	・これまでに学習したことをもとに、作品の魅力がリーフレットにまとめるようにする。	主 魅力を感じた場面や言葉をはっきりとさせ、まとめたことを友達と伝え合っている。 [リーフレット]
	9	○リーフレットを見合い、身に付けた力を振り返る。		

6 本時の学習（6／9）

（1）目標

中心人物の心情を図に表し、その変化のきっかけを考えることを通して、心情の変化を自分の言葉でまとめることができる。

（2）展開

時間	学習活動	○教師のかかわり ◆評価 [方法]	備考
7	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○センテンスカードの並び替え(クイズ)を通して心情の変化を視覚的に捉えさせ、その変化がどこで起きたのか(きっかけ)に意識を焦点化できるようにする。 〈視点1-③〉立ち止まって振り返る場 ○「どこで大造じいさんの残雪に対する気持ちが変わったのだろうか」などの子どもたちの疑問から、本時の課題を設定する。	センテンスカード ロイロノート
大造じいさんの心情は、何をきっかけにしてどのように変わっていったのだろうか。			
2 3	2 図を使って中心人物の心情の変化を捉える。 (1) 心情の変化をもたらしたものが何かについて考える。(一人学習び) (2) 考えを伝え合う。(ペア・全体)	〈視点2-①〉考えを表出し比較する場 ○図を使って考えを可視化し、それぞれの子どもの考えを比較できるようにする。 ○第3場面の(山場)の叙述に着目させながら、きっかけに当たる部分にサイドラインを引かせる。選んだ根拠や理由付けも書き加えることで、自分の意見をはっきりと主張できるようにする。 〈視点2-②〉納得解を生み出す根拠や理由付けの充実 ○大造じいさんの心情が大きく変化した場面について、その根拠や理由付けにこだわった話し合いを展開することで、一人一人が言葉への自覚を高めながら納得解を生み出すことができるようにする。	心情変化の図 教科書ワークシート
8	3 心情の変化を自分の言葉でまとめる。	○「はじめは～と思っていた大造じいさんが、～をきっかけにして、終わりには～と思うようになった。」という表現の形を示し、本時の学習を生かして自分の言葉でまとめられるようにする。 ◆大造じいさんの心情の変化を書いて表している。 [シート・発表]	ワークシート
7	4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	○本時で感じた作品の魅力(言葉や文、文章、書きぶり等)を振り返ることで、まとめのリーフレットに生かすことができるようにする。	ワークシート